

ここは、マッターホルンの登山口の一つ。この時は装備していない。

しかし、快晴だったので、行ける所まで行くことにした。

目的は、ある場所から、眼下の光景が、どう見えるのか、私は登山家ではない。

今一つは、麓まで行って、マッターホルンを見上げてみたかった。

風もなかった。犬の飼い主の方に、地図を示し、教えてもらった。

時刻は、お昼前、初日は、どんな道なのか確認だけ、1時間で、どの程度行けるのか。

結果、いろいろ試すだけの価値があった。

スイス、マッターホルンに来たという実感を味わう、ひと時。



～～山はみどり 野に花 人にはこころ～～

マッターホルンは、スイスとイタリアの国境にある。

イタリア側の呼称は、チェルビーノ。イタリア、アオスタから訪ねたこともある。

冬場ゆえのラッキーな出会い。展望台からの光景も素晴らしい。

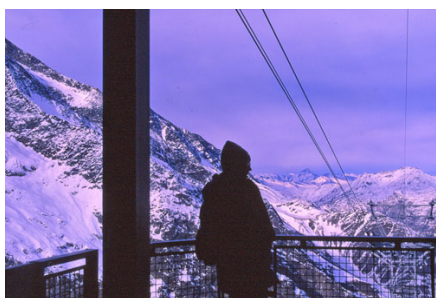
スイス側から挑戦して、悪天候の時は、4日間ほど待ったが、天候が回復しなかった。

スイスから、展望台に来て、スキーでイタリア側へ、行くことができる。

何度目かの挑戦時に、イタリア側へ。しかし、急な傾斜は、私の実力ではダメ。

引き返した。そして後日。イタリア、アオスタ経由、チェルビーノの麓の宿まで行った。

しかし、天候には恵まれなかった。宿泊して、待機したが、断念。



こうした環境に身を置ただけで、幸せ。